

『東大寺領横江庄遺跡』刊行さる

初期庄園の遺跡として著名な石川県の国史跡・横江庄遺跡の調査報告書が刊行された。吉岡康暢氏編で松任市教育委員会・石川考古学研究会刊。内容は調査報告にあたる調査編と六編の論考を取めた研究編からなる大部なものである。研究編には「加賀・能登における掘立柱建物の類型と性格」「奈良平安時代の土器編年」「施釉陶器・陶硯・墨書土器」「横江庄遺跡出土土器の胎土分析」「賜田系庄田に関する覚書」「北陸初期庄園遺跡の考古学的検討」といった力作がならぶ。なかでも「施釉陶器・陶硯・墨書土器」(吉岡康暢氏)では石川県出土の墨書土器が集成検討されており注目される。

△申込先▽ 石川県埋蔵文化財協会

頒価 七〇〇〇円 送料五〇〇円